

高橋剛商会ニュース

(株)高橋剛商会
〒170-0002
東京都豊島区巢鴨
2-16-4-203
TEL 03・3576・5811
FAX 03・3576・5815
フリーダイヤル
0120・76・5812

お客様・販売者・メーカーの **絆** となる情報交換誌です。



末期がんから生還されたH・Sさんの闘病記インタビュー続編!!

1日、朝、昼、晩の毎食後と
その食間にも3回の、計6回。
1回の分量は
多い時には50mlずつ飲みました。



*以下は前号でご紹介したインタビュー内容のあらましです。

いまから8年ほど前、首の腫れが気になり、病院で診てもらおうと「甲状腺線維線腫という良性の腫瘍で手術の必要はない」との診断。

それから3年、首の腫れは子供のコブシほどに大きくなり、「良性でも切除したい」と自ら申し出たところ、手術可能な病院を紹介され、はじめて甲状腺がんを告げられる。

そのうえ、ときすでに遅く手術は困難とされ、余命一年の宣告を受けた。

医療には「残りの日々を自由に生きなさい」と突き放され、それならばと、たまたまご主人の大学時代の先輩だった漫才師の青空うれし師匠からいただいた「バランスα」を飲みはじめる。

そして気がつけば、首の腫れが小さくなっているような…。

半年後、
首の腫れが
消えた!



末期がんから生還された
H・Sさん。
インタビューの間中、笑顔が絶えなかったHさんの好きな音楽は「ロック」!
上の写真を撮影なさったのはご主人です。

定期健診でT大学病院を訪れ、「腫れが小さくなった気がする」と、先生にお話すると

「まさか、そんなはずはないでしょう!」

とすげない返事です。

けれど看護師さんたちは

「Hさん、間違いなくがんは小さくなつてますよ!」

と応援してくれました。

レントゲンで検査してみると、確かにがんは小さくなつていました。

先生はしきりに理由がわからないというのですが、私は確かな自信と希望を持ち始めていました。

甲状腺ガンは、その後も順

調に小さくなっていき、痛みもなくなり、半年後には外見からまったく見えないうちに縮小したのです。

先生から、あれだけ「民間療法をするな」と言われていたので、「バランスα」のことは一切、お話ししていません。

でも、私には確信がありました。これが私には合っているのだと。

**脳動脈瘤の手術入院
密かに飲み続けた
バランスα**

その後、とにかく脳の動脈瘤だけは潰しましょう、と言われ、T大学病院の脳外科で手術をしました。

その入院の際も私は「バランスα」をペットボトルに移

し替え、ボトルに「ウーロン茶」とマジックで書いて病室に持ち込み、飲み続けていました。

脳の動脈瘤は無事潰すことができました。

その後半年くらいは、頭部の痛みがとれず、ペンをもって字を書くこともできませんでした。それが、それも徐々に回復し、脳に関しては今、何も心配することはないと、先生に太鼓判を押されるくらいです。

一日一日を大切に 愛しんで 好きなことを

それから5年が経ちました。その間、先生の言いつけを守って(?)、好きなことをやって自由に生き続けてまいりました。

自作の絵本を作ったり、好きなロックコンサートにも出かけ、映画を観て、たくさんのもも読みました。お友達と旅行へも行きました。

夫、娘、息子に支えられながら、一日一日を愛しんで大切にすごしてきました。

がんが進行したら またしっかりと 向き合おう

がんは完治している訳ではありません。

あれだけ身体中に転移していたのですから、隙あらばまた進行しようと虎視眈々とねらっているでしょう。

けれど、その時はまた、しっかりと向き合って闘っていきましょう。

あれだけ先が見えない絶望的状况の中から生還できたのですから。

担当の先生とは「生存記録をどんどん塗り替えますよ、うね」と笑いながら話しているらしいです。



闘病中の手作り絵本やキルト製おもちゃ。お子様がまだ小さかった頃「世界でたったひとつの絵本を読み聞かせたい」と、お友だちのお母さま方とサークルを作り見よう見まねではじめたのがキッカケ。

インタビューを終えて思うこと by ヒラキ

「死」ときちんと向き合う…とは?

脳動脈瘤の手術時は、自らリクエストしたバラの花のシートにくるまれ、医師にバックグラウンドミュージックはクラシックでいいですかと聞かれて、「元気がでるから「ボン・ジョヴィ」(オーストラリア出身のヘビーメタルバンド)をかけてください」とお願いし、それを聴きながら手術室に向かったこと。



BON JOVI

入院中は入院患者のみならずのアイドル的存在で、退院することになったある患者さんは「Hさんとお話できません」「Hさんとお話してきなくなるのが寂しいので、もう少し入院させてもらえないだろうか」と病院に直訴したというエピソードも。

退院後、定期健診で病院を訪れると、先生や看護師さんから「Hさんが退院されたら、病棟が火の消えたように寂しくなった」と言われたこと。

「フランスα」の病院内への持ち込みも、ボトルを押し替えて「ウーロン茶」とマジックで書いておくなど、Hさんはなかなかお茶目です。

末期がんを告げられたとき、それが自分への死の宣告であつたにもかかわらず、彼女の頭に浮かんだのは、「この報告を家族に伝えたときに家族はパニックを起こすのではないか」という家族への思いでした。

「お母さんは自分の(病気の)ことを、まるで人ごとのように話している」

と、ご長女に言われたそうですが、ご自分のおかれた状況に対し、感情に呑みこまれることなく解決の糸口を見いだそうとする前向きな姿勢が、がんからの生還につながっているように思えました。

しかし、自ら治療法を模索する一方で、Hさんはおそらく「死」もきちんと見つめておられたの

ではないでしょうか。

直に「死生観」についてうかがったわけではないのですが、大変親しかったお友達が最近亡くなったお話や、末期がんで余命3カ月という状態になったお友達に「フランスα」を勧め、余命を1年まで延ばし、一緒にデイズ・ニールランドへ行き遊びまくったお話、さらに西洋医学だけに頼らない「統合医療」への道を切り開いた帯津良一先生のご本を読まれて感動したお話などをうかがっていると、Hさんは「死」を、恐ろしい断絶、とは感じていないの

だろうな、と思ってきました。

Hさんは若い頃からビートルズが好きで、中でもジョン・レノン作の「アクロス・ザ・ユニバース」が大好きとおっしゃっています(最初期の「P.S. アイ・ラヴ・ユー」も好きだとか)。



この「アクロス・ザ・ユニバース」はジョン・レノンが、自分と宇宙が一体になった感覚の素晴らしさを表現力豊かな歌詞と、素晴らしいメロディーで奏でた、ビートルズ時代のジョンの最高傑作なのですが、その歌のサビの部分で、次のフレーズが繰り返されます。

NOTHING'S GONNA CHANGE MY WORLD

何ものも 私の世界を 変えることは できない

インタビューを終え、家で「アクロス・ザ・ユニバース」を聴きながら、この歌詞の「何ものも」を「死さえも」と読み替えると、Hさんの思いに少し近づけるのでは、と思つたものでした。

H・Sさんの体験から推測できる3つのこと

1、不活発になっている免疫系を活性化するには初期段階での“強い刺激”が効果的

今回のH・Sさんの闘病記を読まれた方からのお問い合わせで最も多いのが、飲用量についてです。

私どもは、“進行中のガン治療の補助として「バランスα」を飲む場合の目安を、**1日3回、食事の度に50ml程度**”(「高橋剛商会ニュース第91号」平成25年1月24日発行)とお伝えしてきました。

しかし、H・Sさんが飲まれた量は、それよりさらに多く、**1日6回、50mlずつ(1日あたり合計300ml)**でした。その結果、

- ◎ 1週間後～ 湿疹、発熱
- ◎ 1か月後～ 子供のこぶし大あった首の腫瘍が小さくなりだす
- ◎ 半年後 腫瘍消失(見た目で判断できる腫れなし)

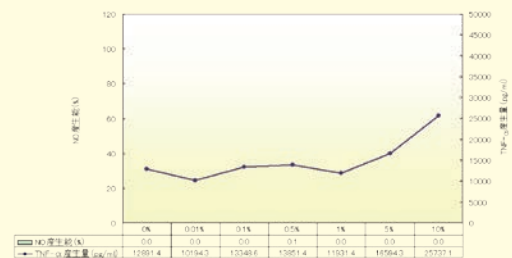
という段階を経て、ガンとの闘いに勝利します。
腫瘍消失後は、1日の飲用回数も、1回の飲用量も少なくされたそうです。

このH・Sさんの体験から推測できることは、**進行の進んだガンの場合、自己免疫系は極めて不活発になっており、これを動き出させるために、初期段階でかなりパワーをかける必要がある、**ということなのです。

つまり、「バランスα」で不活発な自己免疫系を始動させる初期段階では、**飲用量を多くすることが効果的である可能性がある、**ということなのです。

右グラフは、すでに何度もご紹介している、マクロファージ(免疫系)のTNF-α(腫瘍壊死因子)が、バランスαの濃度とどう関係するかを計測したものです。

ご覧のように「バランスα」が増えるにつれ、右肩上がりですべてTNF-αの産出量が増えています。この分析結果からも、「バランスα」の飲用量と免疫系の活性度との間に**正の関係がある、**ことが推察できそうです。



2、極度に不活発になっている免疫系が動き出すとき激しい好転反応が起こる

ガンがかなり進行している場合、身体全体は既に【ガンが存在している状態に適応=安定】しています。この【**不健全な停滞状態**】が崩れるとき、身体全体に大きな混乱が生じ、“激しい好転反応”として現れる、と推測されます。

3、進行したガンの場合、好転反応の有無が“効果あり・なし”の判断材料

逆に考えれば、“**好転反応**”が起きたことは**自己免疫系が動き出した証**であり、その方策(この場合は「バランスα」)に効果があることを推測させます。

残念ながら悪性腫瘍(ガン)は、誰にでも、どのようなケースでも効果をあげる万能な解決法はありません。一方で、使える時間とコストには限りがありますから、いろいろ試して自分のケースにうまく適応する方策を早く見つけ出すことに尽きます。

*以上をまとめると

進行したガン治療補助に「バランスα」を利用する場合(H・Sさんの体験を前提にして)

1. 飲みはじめ段階で大量飲用(200ml以上/日)してみる
2. 1か月以内に「好転反応」が起きるかどうかを、経過観察する(起きなければ中止判断をする)
3. 定期健診で腫瘍の縮小等を確認し、段階的に飲用量を減らしていく

というのが費用対効果の高い利用法かと思います。

『バランスα』は、山形県真室川町で、独自の自然農法を営む米作りの偉才・高橋剛が開発した、抗酸化力にすぐれた健康補助飲料です。



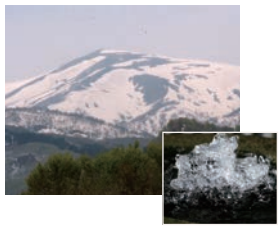
玄米



びわ



菊



伏流水

原材料は、いずれも強い抗酸化力を持つ、「玄米」「びわ（葉・種）」「食用菊（山形特産”もってのほか”品種）」の3つです。

それらの原材料を黄金比でブレンドし、一年半の歳月をかけ、微生物たちが原材料のカロリーを消費しつくし、透明な液体になるまで完全発酵させ、有効成分だけを引き出したものが『バランスα』です。

この完全発酵により、そのままでは大きすぎて腸壁から吸収されない酵素類が、分解されて体内に取り込まれやすくなります。

完全発酵のベースになる水にもこだわり、善玉菌以外の腐敗菌をできるだけ排除するため、万年雪を抱く霊峰・月山の伏流水が使用されます。

自然界には多種多様の微生物が生存し、太古から人々の暮らしにかかわっています。

そんな無数の微生物の中から、乳酸菌や酵母菌をはじめとする、人体に有益な80種類の微生物群を選んで組み合わせることを可能にしたのが、この完全発酵という貴重な技術です。



無料サンプルはこの『バランスα』500ml商品そのものをお送りします。

◎『バランスα』無料サンプルをお試ください。

【お電話で申し込む】 0120-76-5812 無料フリーダイヤル

担当者が
郵便番号・ご住所・お名前・お電話番号を
お伺いします

完了です。
すぐにお届けします。

【FAXで申し込む】 0120-76-5812 無料フリーダイヤル

同封のファックス専用申込用紙に
お名前とお送り先の住所を書いて
ご送信ください

完了です。
すぐにお届けします。

【インターネットで申し込む】 株式会社 高橋剛商会 検索

高橋剛商会のホームページから
『バランスα』無料サンプル申込み欄に
必要事項をご記入し、ご送信ください

完了です。
すぐにお届けします。

『バランスα』がよくわかる
小冊子も進呈しております。



『バランスα 読本・基礎編』
A5サイズ・64ページ
フルカラー

どんなことでもお気軽にご相談ください！